

東南アジアにおける フードバリューチェーン(FVC) 構築支援の取組

2017年11月30日

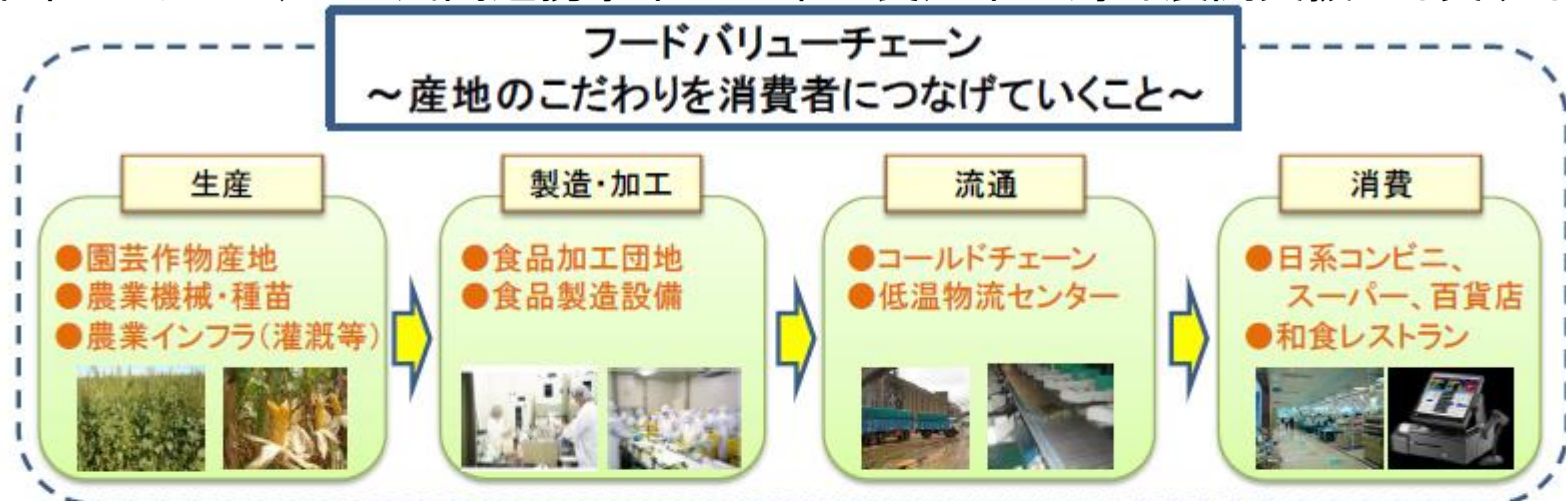
JICA農村開発部第一チーム

平 知子

1. JICAが取り組むFVC構築支援
2. 東南アジアにおける具体事例
 - － インドネシア
 - － ミャンマー
 - － フィリピン
3. 今後の展望

1. JICAが取り組むFVC構築支援

JICAが実施する経済協力は政府が掲げるグローバル・フードバリューチェーン戦略にも位置づけられ、かつ民間連携事業は日本の食産業の海外展開支援にも資する。



民間連携事業

技術協力、無償資金協力、円借款

日本の食産業の海外展開

<日本の食産業の「強み」>

- ①ユネスコ無形文化遺産の日本食を基盤とした産業展開
- ②高品質コールドチェーン
- ③高度な農業生産・食品製造・流通システム（ICT、省エネ・環境技術、植物工場等）
- ④先進性・利便性の高い日本型食品流通システム（POS、コンビニ、モール等）

経済協力の戦略的活用

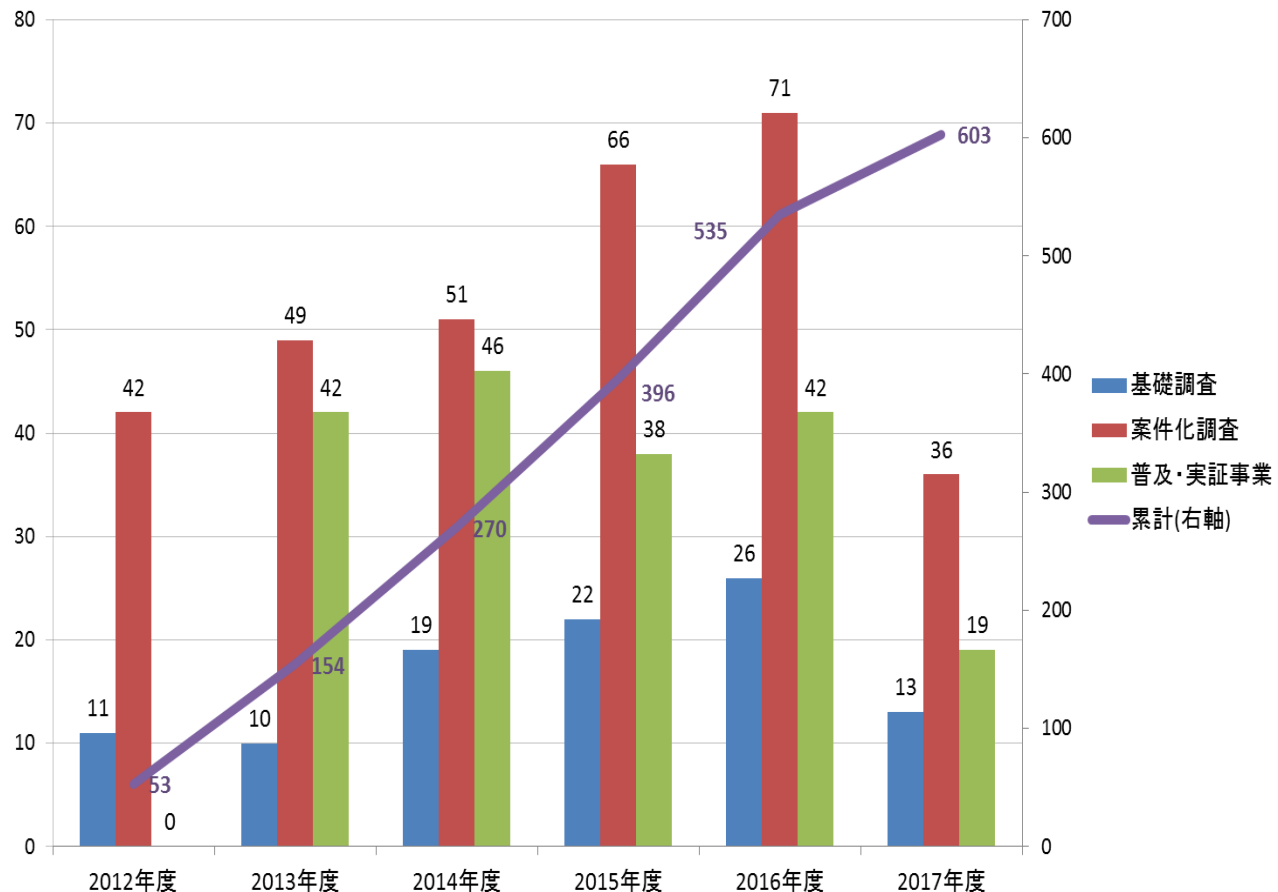
- 園芸作物産地の育成
- 高性能農業機械の導入
- 農業インフラの整備（灌漑施設等）
- 人材育成
- 農業生産・食品の規格・基準等制度の構築

日本食の輸出促進

- 現地日系企業向けに日本食材を輸出（食品工場、和食レストラン、スーパー、コンビニ等）
- 輸出市場でのコールドチェーン等のインフラ整備
- 現地日系企業を通じたマーケットイン型の輸出体制の構築

JICAの中小企業支援事業実績①

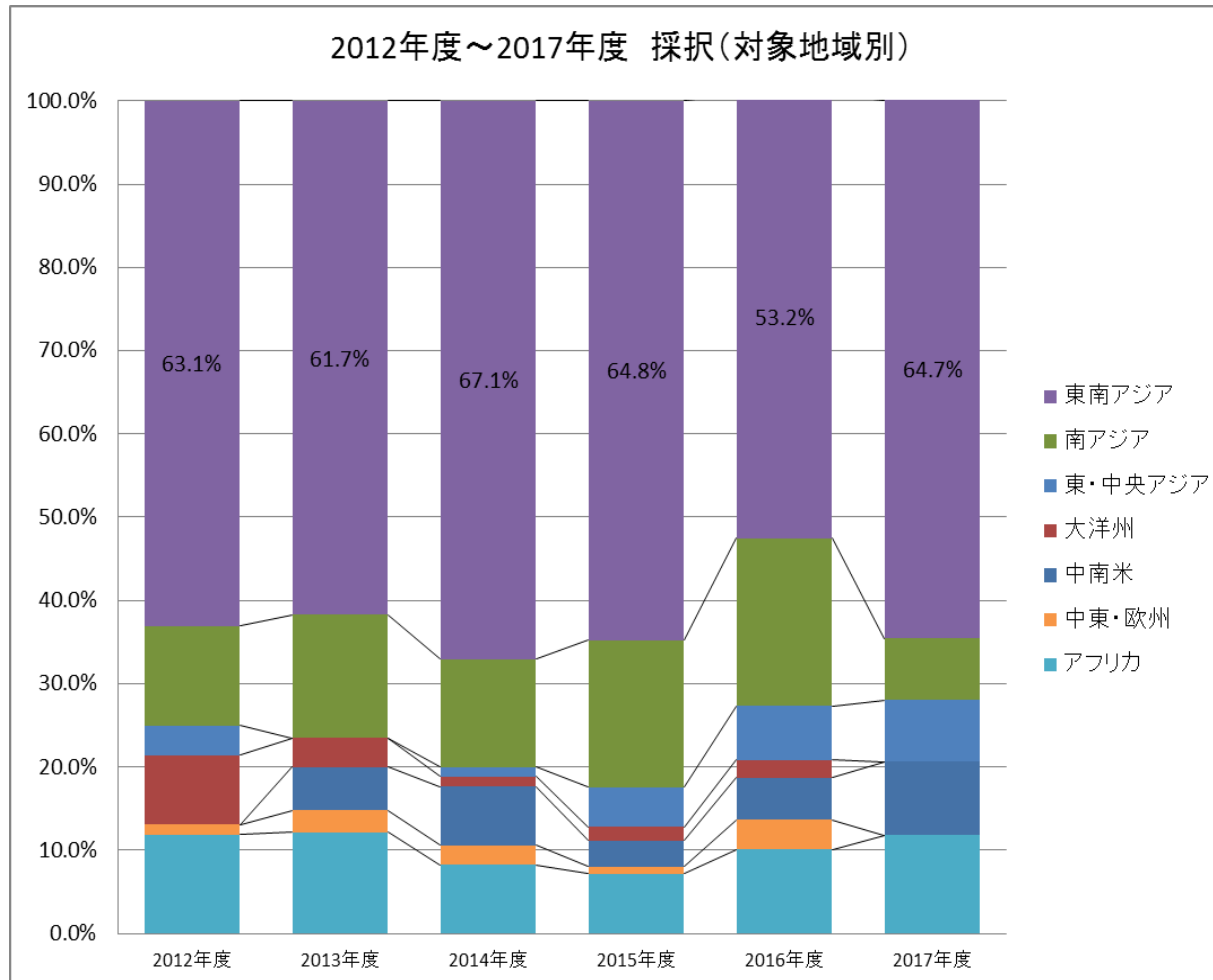
- ・実施期間：2012年度より開始し、2017年度で6年目
- ・述べ採択数：603件（2017年4月採択分まで）



採択件数中の農業案件(%)： **7.6%** **12.7%** **22.4%** **30.2%** **28.8%** **21.8%**

JICAの中小企業支援事業実績②

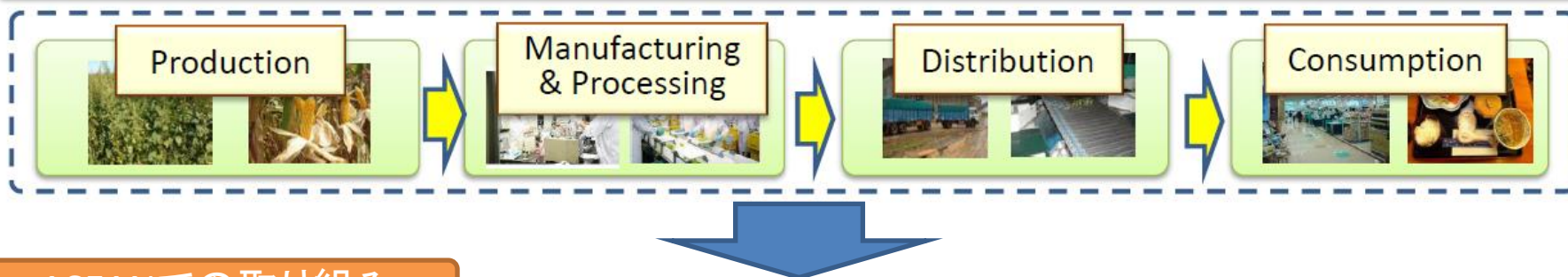
- ・国別採択状況：毎年約6割は東南アジア地域での案件を採択



JICAが取り組むFVC構築支援

背景

- ・途上国でインフラ整備、投資環境整備が進む中、伝統的な農業から市場志向型の農業の転換が図られてきており、途上国の市場も従来の「食料の安定確保」のみならず、「品質の向上、安全性の確保」を求める国が増加している。
- ・海外市場を志向する農業開発が進む中、各市場に見合った規格・基準を満たす農産品の生産・加工・流通が必要となっている。
- ・農業セクター依存の高い途上国が多い中、海外を含む市場に対し安定供給を実現するためにFVCの構築が必要であり、またFVCの中のボトルネックを明らかにし、各段階で然るべき付加価値がつけられ、生産者等の所得が向上するための仕組みを作る必要がある。



ASEANでの取り組み

- ・ASEAN各国では、各国事情に合わせたFVC構築に関連するプロジェクトを実施中。
- ・ASEAN域内貿易の拡大に向けて、域内動植物検疫等の輸出入関連制度の標準化や、ASEAN GAP制定等の安全・安心な農産物生産に係る仕組みの導入等、域内共通の課題解決に向けた目標を掲げている。

JICAが取り組む主なFVC構築支援案件 (東南アジア)

ミャンマー 貧困農家の所得向上及び健康改善のための無農薬ハーブ及び雑穀等生産・販売ビジネス調査(民間連携事業)

ベトナム ゲアン省農業振興開発計画策定支援プロジェクト(技プロ)

ミャンマー バゴー地域西部灌漑農業収益向上プロジェクト(技プロ)及びバゴー地域西部灌漑開発事業(円借款)

ベトナム ラムドン省における農産物品質向上のための長期鮮度保持システムの導入にかかる案件化調査(中小企業支援事業)

ミャンマー FVC開発支援調査(基礎調査)

フィリピン国安全野菜生産販売技術改善プロジェクト(草の根技術協力)

日タイ連携による果菜類の栽培技術改善・高付加価値化と研究開発能力向上の普及・実証事業(中小企業支援事業)

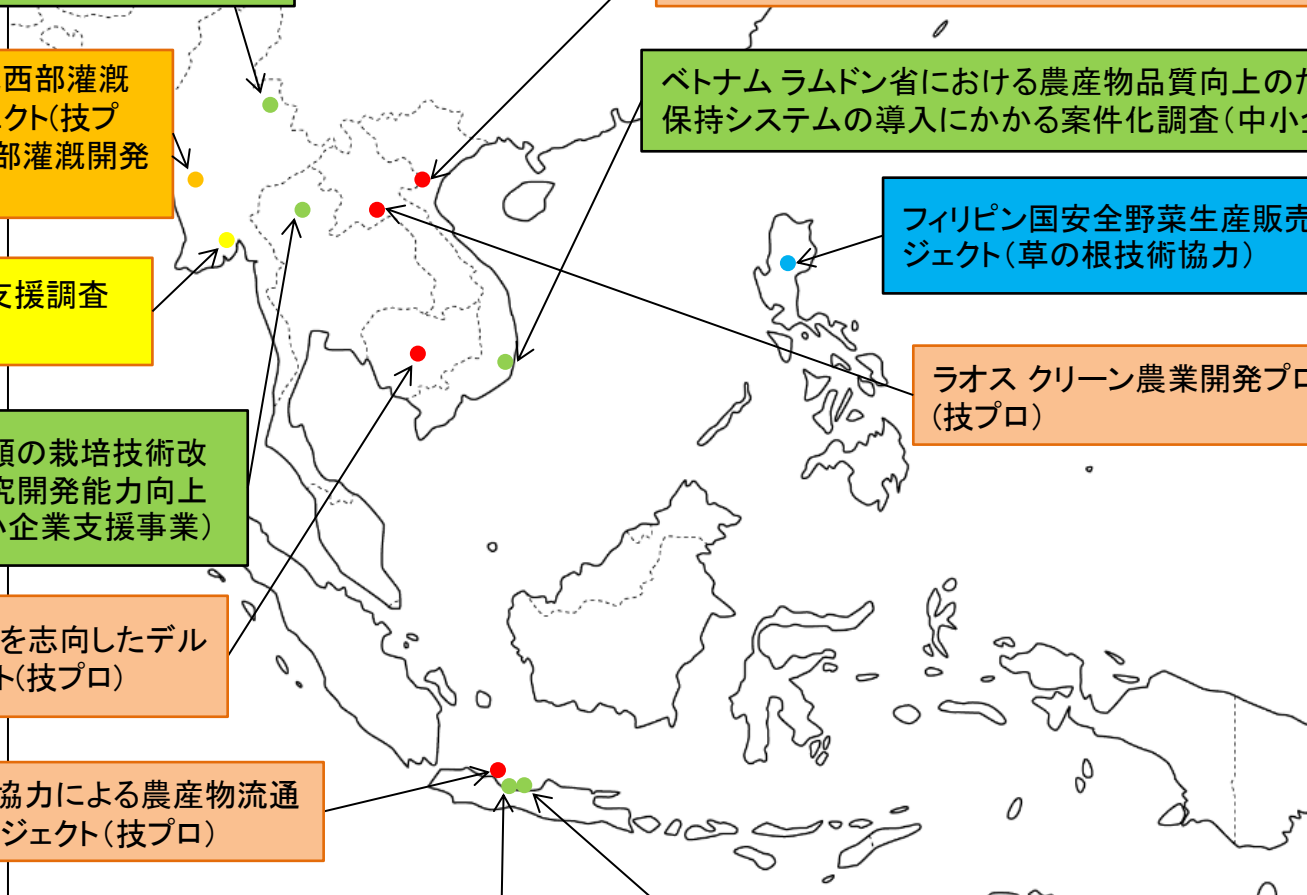
ラオス クリーン農業開発プロジェクト(技プロ)

カンボジア ビジネスを志向したデル農協構築プロジェクト(技プロ)

インドネシア官民協力による農産物流通システム改善プロジェクト(技プロ)

ジャカルタ特別州消費者向け高付加価値農産物の供給改善を通じた零細農家所得向上のための案件化調査(中小企業支援事業)

高付加価値いちごの無病苗開発を通じた産地6次化案件化調査(中小企業支援事業)



東南アジアにおける取り組み事例① (インドネシア)

JICA技プロ・実施中

官民協力による農産物流通システム改善プロジェクト
実施期間: 2016年～2020年 対象者: 商業農家、農業省・局行政官

消費市場(民間)



対象: 富裕・高中所得層
近代的流通業者(スーパーマーケット、
外食産業、食品加工業、など(日本企業含む))



官民協議会
ビジネスパートナーシップ

インドネシア政府

農業省園芸作物総局

州・県農業局

発注・
品質要求

高品質・
高付加価値
農産物

高品質・
高付加価値農産物の直接取引
発注・品質要求

生産指導
融資支援

生産地市場施設(STA)



対象: 西ジャワ州の既存STA(4ヶ所)
①農家指導体制の強化
②選択的・戦略的な市場運営/設備改善
③日本の先進事例の導入
(農協システム、市場情報システム、産品ブランド化)

商業農家グループ



対象: 西ジャワ州のトライアル農家(51グループ)

①高付加価値な作物の生産
②収穫後処理の改善・流通ネットワークの強化
③マーケティングと金融アクセスの支援

高品質・
高付加価値農産物

生産指導、新品種

東南アジアにおける取り組み事例① (インドネシア)

園芸作物の サプライチェーン構築



東南アジアにおける取り組み事例① (インドネシア)

農業融資(KUR)の導入

農家が融資を受けるためのサポートを実施



販売イベント

イオンモールのイベント“Farm to Table”で
対象農家が青果物を販売



東南アジアにおける取り組み事例②(ミャンマー)

目標

地方部の雇用創出

工業化に資する農業の役割

安価な食糧の供給による労働集約的な産業の競争力強化、国産工業製品に対する国内需要創出

農業産業を原動力とする経済発展

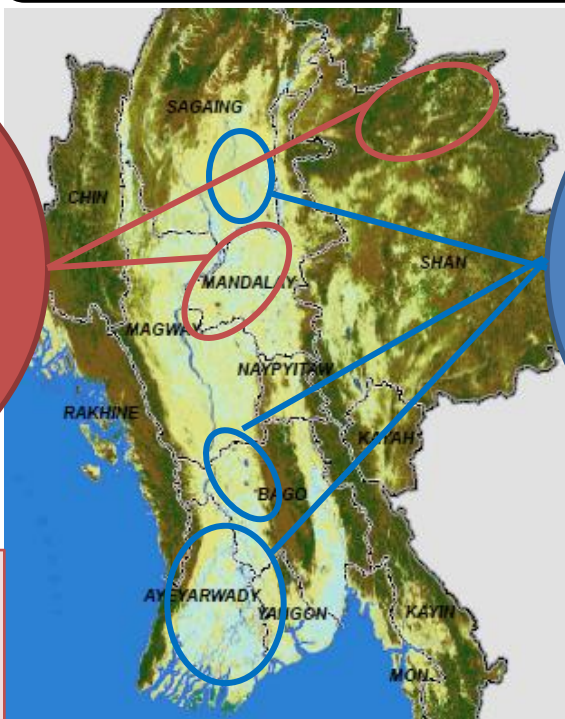
戦略

貧困削減、
少数民族
地域支援

- 地域のニーズを踏まえた農業研究・普及
- 重点地域: 中央乾燥地、シャン州北部

農産業
育成

- 集約的農業
- 農業生産の多角化
- 食料バリューチェーンの強化
- 重点地域: バゴー地域西部、エーヤワディー地域、サガイン地域、シュエボー郡



主要事業

機能的な営農技術普及システムの構築

- ・(技協)中央乾燥地における節水農業技術開発プロジェクト
- ・(技協)シャン州北部地域における麻薬撲滅に向けた農村開発プロジェクト
- ・(技協)中央乾燥地における小規模養殖による住民の生計向上プロジェクト
- (無償・技協)口蹄疫対策改善計画(完成後、技術指導も実施)

貧困地域農村インフラ整備

- (借款)貧困削減地方開発事業(フェーズ2)(地方電化、地方給水、地方道路)
- (無償)第二次中央乾燥地村落給水計画

研究開発・政策立案能力の向上

- ・(無償)農業人材育成機関強化計画
- ・(技協)イエジン農業大学能力向上
- ・(技協)農業セクター中核人材育成
- ・(技協)政策アドバイザー(農業・農村開発、灌漑)

農業・農村インフラ整備と併せた営農技術の指導

- (借款)農業所得向上事業
- (借款)バゴー地域西部灌漑開発事業
- (技協)バゴー地域西部灌漑農業収益向上プロジェクト
- ・(技協)イネ保証種子流通促進プロジェクト

農民向け金融の充実

- (借款)農業・農村開発ツーステップローン事業

民間投資促進支援

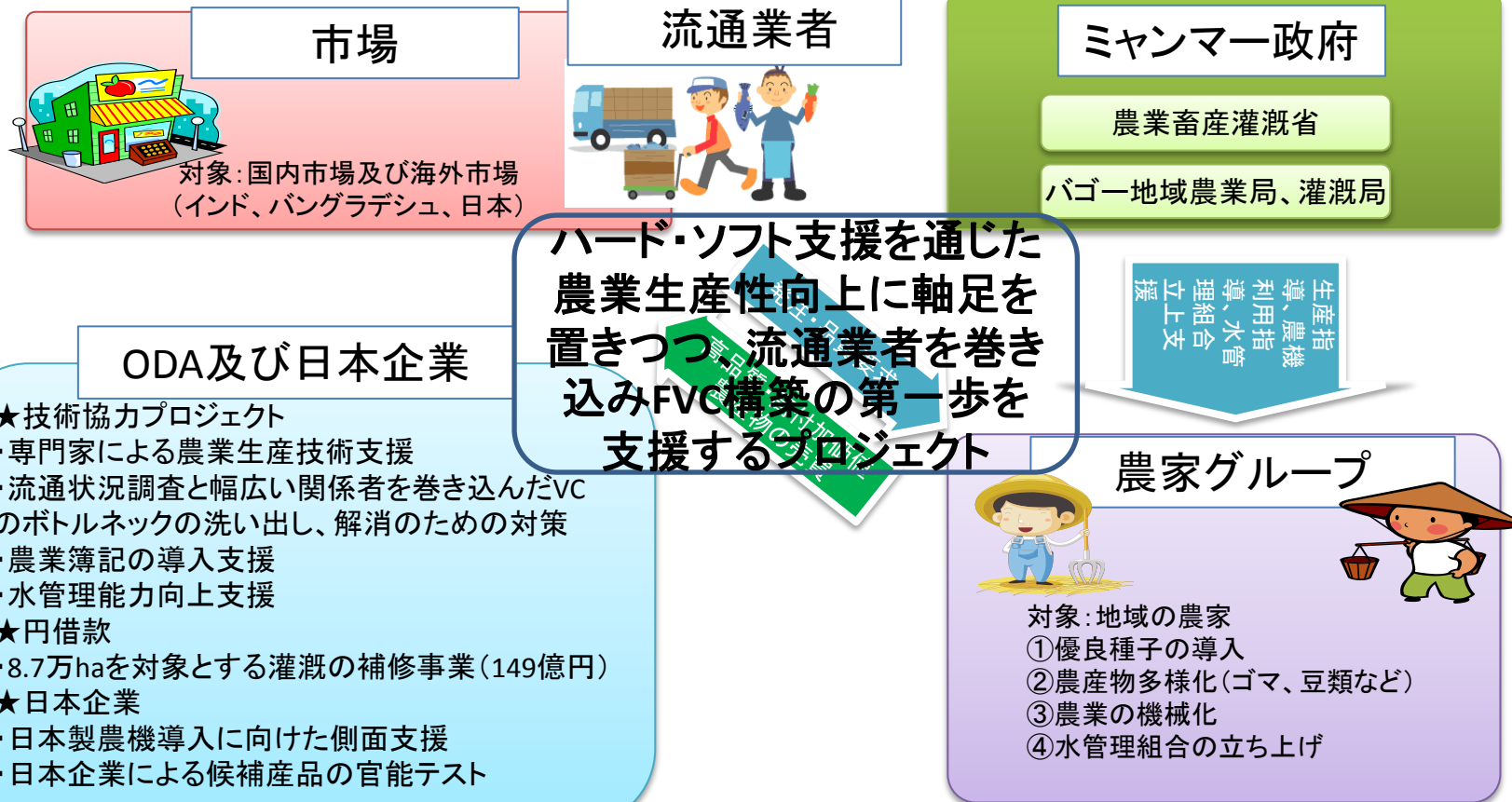
- (技術協力)残留農薬管理などの食品安全対策に関する協力

東南アジアにおける取り組み事例②（ミャンマー）

JICA技プロ/円借款・実施中

バゴー地域西部灌漑農業収益向上プロジェクト(PROFIA)及び バゴー地域西部灌漑開発事業

実施期間：2014年～2021年 対象者：農業普及員、灌漑技術者、農家



東南アジアにおける取り組み事例②（ミャンマー）

案件名：貧困農家の所得向上及び健康改善のための無農薬ハーブ及び雑穀等生産・販売ビジネス調査

SDGsに係る現地の課題

企業が有する強み



- 商品作物（タバコ等）栽培における農薬散布過多による健康被害
- タバコ等の販売価格の乱高下および生産コストの増大による低収入
- 僻地農村部における割高な生活必需品価格による生活費の逼迫
- 高血圧・糖尿病患者の増加



- 現地におけるハーブ生産・加工事業実績
- ハーブティーの日本国内での販路
- 現地における僻地農村部を繋ぐ流通事業実績



SDGsビジネスの内容

僻地農村部（シャン州及びカレン州）において、小規模農家を対象に、無農薬栽培による高付加価値作物（ハーブ・雑穀）の生産・販売及び適正価格による生活必需品の巡回販売を行うことで、農家の健康改善と収入向上を目指す

ODAによる開発ノウハウ・ネットワーク・資金的支援

企業が有するノウハウを活用した技術指導

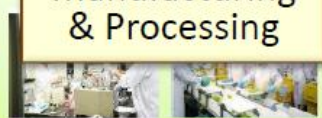
企業が運営する流通事業の活用

既に確立済みの日本向け販路の利用

Production



Manufacturing & Processing



Distribution



Consumption



東南アジアにおける取り組み事例③(フィリピン)

フィリピン国安全野菜生産販売技術改善プロジェクト

実施期間: 2016年～2019年 対象者: 農民、自治体職員、卸売市場運営者、政府職員

草の根技術協力実施中

【プロジェクト場所】

主要野菜生産地域10州

【提案自治体／実施団体】

長野県南牧村／(公社)国際農業者交流協会

【活動およびアウトプット】

1. 土づくり・安全野菜生産(SAVERS)技術に基づく土壌改良、安全で良質な野菜の生産が普及拡大
2. 野菜生産者による野菜包装販売(FIVPS)システムの有効性の実証
3. プロジェクトの受益者がSAVERS、FIVPSの必要性和技術内容を理解するとともに、その実践または普及を行う意欲をもつ

生産地



高付加価値農産品の生産

流通



・ロスの削減(人件費・時間)
・流通量の増加

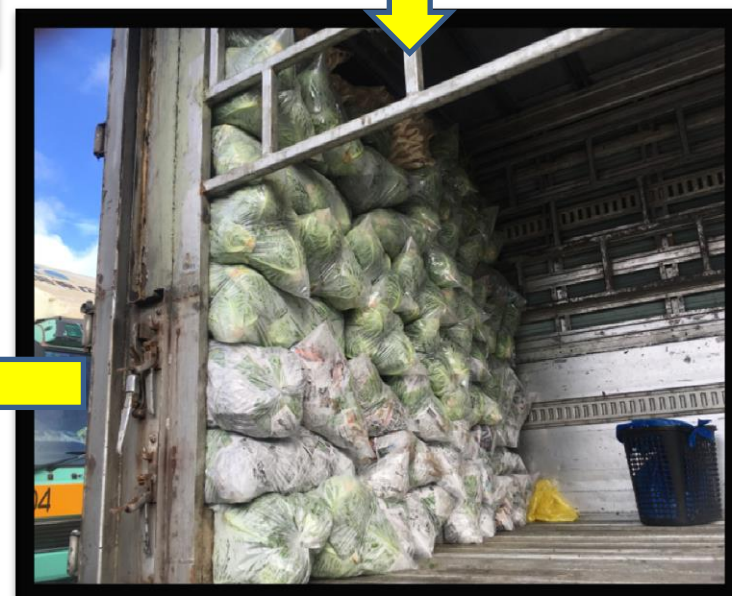
小売店・レストラン
消費者



高品質・新鮮な作物を提供

東南アジアにおける取り組み事例③(フィリピン)

フィリピン



輸送方法により、商品がダメージを受け、価値が下がる

東南アジアにおける取り組み事例③(フィリピン)

日本



産地で箱詰めされた状態
(＝収穫時の良好な状態)で出荷



- FVC構築を対ASEAN農村・農業開発セクターにおける協力の柱の一つと位置づけ、技術協力、資金協力、民間スキームを有機的に組み合わせながら支援内容をさらに充実させる。
- 2国間で実施する事業のみならず、ASEAN全体を対象としたFVC構築に係る対話を促進し、域内貿易促進に向けたボトルネックの解消に取り組む予定。

ご清聴ありがとうございました



インドネシア流通システム改善プロジェクト 本邦研修終了時